

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまちづくり
施策No.	21	施策名	子どもたちの健やかな成長支援
主管課名	健康センター		
関係課名	子ども課、学校教育課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子どもを産み育てることができ、子どもが健やかに成長しています。</li> <li>・幼児期において、生涯を通じた健康づくりに向けた生活習慣の基礎が作られています。</li> <li>・育児不安への相談体制や養育支援が必要な家庭への支援体制が整っています。</li> </ul>
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦健康診査や乳幼児健康診査をきちんと受診します。</li> <li>・母と子の健康や育児に関する相談や教室を利用するなど育児不安の解消に努めます。</li> <li>・養育が困難になった時は、専門機関に相談し支援を求めます。</li> <li>・児童虐待の疑いに基づいたら、関係機関に連絡します。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健システムや子育て支援サービスの周知を行います。</li> <li>・幼児健診の個別案内をするとともに、健診未受診者の状況把握を行います。</li> <li>・母子の健康相談や健康教室を行い、母子の健康や子育て情報の提供を行います。</li> <li>・関係機関と情報を共有し、養育支援に努めます。</li> </ul>
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で、母と子の健康づくりを支援、子育てを応援します。</li> <li>・児童虐待の疑いに基づいたら、関係機関に連絡します。</li> </ul>

区 分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	7 (7)	7 (2)			
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	4 (4)	3 (0)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	1 (1)	1 (1)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	3 (1)			
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—					
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	34,385	35,003			
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	32,142	32,510			
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	1,719	1,729			
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	524	764			
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—					
	C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	38	28			
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	6,340	3,740			
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	27,890	15,686			
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	62,275	50,689			
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	776	795			
	同 上	円	—	629	356			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	629	356			
同 上	円	—	1,405	1,151				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	1,405	1,151				

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194			
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036			

基本事業概要シート①

施策No.	21	施策名	子どもたちの健やかな成長支援
基本事業名①		母と子の健康づくりの推進	
基本事業①の目的(意図)		母と子の健康の保持増進を図るとともに、生涯を通じた健康づくり習慣の基礎が作られます。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【妊産婦健康診査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦一般健康診査を1人につき14回助成しました。</li> <li>・里帰り等による県外での受診者には償還払いによる助成を行いました。</li> <li>・未熟児出産や分娩時に異常のあった方には、産婦一般健康診査の助成を行いました。</li> </ul> <p>【妊産婦乳児訪問指導事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度から権限移譲された、未熟児訪問指導については、産科医療機関との連携を強化し、タイムリーな訪問指導を実施しました。</li> </ul> <p>【乳幼児健康診査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4か月児、1歳6か月児、3歳児健診を集団健診として、8～10か月児健診を医療機関委託健診として実施しました。</li> <li>・むし歯予防対策として、1歳6か月児健診受診後、希望者に歯科健診とフッ素塗布を6か月毎に継続して実施しました。</li> </ul> <p>【いのちの教育推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会と連携して、小中学生を対象に助産師の講話や子育て体験談及び乳幼児とのふれあい体験を実施し、命の大切さについて指導しました。</li> </ul>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
子育てが楽しいと感じている親の割合	%	92.7	92.8 96.1	92.9 97.9	98.0 97.5	98.0 97.9	98.0	98.0	98.0
健康・育児教室の参加数	人	2,505	2,510 2,366	2,515 2,203	2,520 2,667	2,530 1,641	2,540	2,550	2,600

基本事業①を構成する事務事業の実績								
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)			
1	一般会計	妊産婦健康診査事業	27,160,989	26,193,337	967,652	A	健康センター	
2	一般会計	妊産婦乳児訪問指導事業	1,382,000	1,114,841	267,159	A	健康センター	
3	一般会計	乳幼児健康診査事業	5,857,000	5,201,951	655,049	A	健康センター	
4	一般会計	いのちの教育推進事業(施策30-②再掲)	(201,000)	(114,804)	(86,196)	A	学校教育課	
5					0			
6					0			
7					0			
8					0			
9					0			
10					0			
11					0			
12					0			
13					0			
14					0			
15					0			
16					0			
17					0			
18					0			
19					0			
20					0			
21					0			
22					0			
23					0			
24					0			
25					0			
26					0			
27					0			
28					0			
29					0			
30					0			
合 計			34,399,989	32,510,129	1,889,860			

基本事業概要シート②

施策No.	21	施策名	子どもたちの健やかな成長支援
基本事業名②		相談体制の充実	
基本事業②の目的(意図)		保護者の育児不安等が解消・軽減され、安心して子育てすることが出来ます。また、育児不安や育てにくさからくる児童の虐待防止を図ります。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<b>【子ども相談事業】</b> ・育児不安や子育て、就学などに関する総合相談窓口をこども課に設置し、必要に応じて学校教育課や健康センター、厚生センター、児童相談所などと連携しながら、様々な相談に対応、支援しました。 ・子育て支援センターにおいても、母と子の健康や育児についての相談を実施しました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
健康・育児相談件数	件	1,978	1,980	1,980	1,990	1,990	2,000	2,000	2,100
			2,274	1,729	1,532	2,335			
総合相談件数	件	—	—	160	170	180	190	200	250
			—	164	207	201			

基本事業②を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	子ども相談事業	1,793,000	1,728,995	64,005	A	こども課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			1,793,000	1,728,995	64,005		

基本事業概要シート③

施策No.	21	施策名	子どもたちの健やかな成長支援
基本事業名③		養育支援体制の充実	
基本事業③の目的(意図)		家庭の養育力が向上し、適切な養育環境が維持・改善され、児童の虐待を防止するとともに、児の健やかな成長が図られます。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【要保護児童対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の虐待防止月間に合わせて市広報11月号に虐待防止に関する特集を掲載し、虐待防止の啓発に努めました。</li> </ul> <p>【乳児家庭全戸訪問事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生後2～3か月児のいる家庭に、母子保健推進員や保健師が訪問を行い、母子保健や子育て支援のサービス情報を提供するとともに、育児不安を傾聴するなど育児支援に努めました。</li> </ul> <p>【養育支援家庭訪問事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠届出の受理や乳児家庭全戸訪問、関係機関との連携の中で、養育支援の必要な家庭に早期から、継続した訪問や支援を行いました。</li> </ul>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
乳児家庭全戸訪問実施率	%	95.4	95.5	95.6	96.7	96.8	97.0	98.0	100.0
			95.3	95.0	94.1	97.3			

基本事業③を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	要保護児童対策事業	300,000	30,576	269,424	B	こども課
2	一般会計	乳児家庭全戸訪問事業	620,000	549,675	70,325	A	健康センター
3	一般会計	養育支援家庭訪問事業	938,000	183,907	754,093	A	健康センター
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			1,858,000	764,158	1,093,842		

施策No.	21	施策名	子どもたちの健やかな成長支援
-------	----	-----	----------------

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p><b>【母と子の健康づくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育てが楽しいと感じている親の割合は、前年度の97.5%から97.9%に増加し、目標値に近づいています。</li> <li>◆健康・育児教室の参加者数は、前年度の2,667人から1,641人と大きく減少し、目標値に及びませんでした。</li> </ul> <p><b>【相談体制の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康センターで実施している健康・育児相談件数は、平成22年度をピークに減少傾向にありましたが、前年度1,532件から2,335件に増加しました。また、こども課で実施している総合相談件数は、前年度と横ばい状態でしたが、相談数はともに目標値を超えました。少子化の時代で子どもの数は減少していますが、核家族化で不安を抱えながら子育てをしている人は増えており、相談窓口の周知が図られている事もあり相談件数が伸びていると考えられます。</li> </ul> <p><b>【養育支援体制の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆乳児家庭全戸訪問実施率においても、前年度より3.2ポイント高く97.3%となっており、目標値を超えました。他市と比較しても上位に位置しています。訪問が困難な家庭には、電話や子育て支援センターの親子の集いの場等で状況を確認しています。近年、県外への長期里帰り者などが増える傾向にあり、今後、全戸訪問は難しくなってくる事が予想されます。</li> </ul>
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)
	<p><b>【母と子の健康づくりの推進】</b></p> <p>&lt;妊産婦乳児訪問指導事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆25年度から権限移譲された未熟児等訪問指導は、産科医療機関との連携を図りながら、保健師や助産師が実施しました。また、妊娠期からの情報を踏まえ、タイムリーで継続した訪問に努め、安心して子育てができるよう支援しました。</li> </ul> <p>&lt;乳幼児健康診査事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆1歳6か月児健診受診後、希望者に歯科健診とフッ素塗布を6か月毎に継続して実施したことにより、むし歯罹患率が減少しました。そこで、フッ素塗布完了者と中断者のむし歯有病率の評価を実施した結果、むし歯有病率は、完了者15.0%に対して、中断者28.8%であり継続的なフッ素塗布の効果があることが分かりました。</li> </ul>
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末に残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)	
<p><b>【母と子の健康づくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆母と子の健康づくりの推進については、乳幼児健診の精神発達面での経過観察児が多くなっています。H24年度からフォロー教室として専門職を配置した「発達支援教室」を実施していますが、さらに保育園等関係機関と連携を図りながら、支援体制を整えていく必要があります。</li> <li>◆妊娠届出数や出生数が減少傾向にあり、各種健康教室等の参加者が減少しているため、教室の見直しが必要です。</li> </ul> <p><b>【相談体制の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆少子化や核家族化が進む中で、母子の健康や育児等に関する相談件数が増加しています。このことは、市民の身近な場所での相談への期待が大きくなっている現れだととらえられます。また、相談内容は複雑化しており、関係機関と連携しながら早期からの相談体制の強化を図る必要があります。</li> </ul>	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆母と子の健康づくりの推進については、健康診査の未受診者の把握に努め、関係機関と連携を図りながら、フォロー体制の充実を図ること。</li> <li>◆総合相談窓口の周知に努めるとともに、身近な場所で相談を受けることができるよう、関係機関と連携を強化し相談体制の強化を図ること。</li> </ul>	

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆多様な育児支援を必要とする親子が増えており、専門職と連携した発達支援相談や教室の開催など育児支援を行います。</li> <li>◆乳幼児の健康診査未受診者の把握に努め、関係機関と連携を図りながらフォロー体制の充実に努めます。</li> </ul>	